

子どもたちの学力の向上を目指して

保護者のみなさんとともに

～ 全国学力・学習状況調査 質問紙調査から ～

【中学校版】

「子どもたちの学力」と
「家庭での生活」ってど
んな関係があるのかな？

家庭での過ごし方で大切
なことってどんなことな
のかな？



学力を向上させるためには学校と家庭が連携して、子どもの基本的な生活習慣を確立し、学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を図ることが大切です。

平成 27 年 4 月に実施された全国学力・学習状況調査の結果から、家庭での生活習慣や学習習慣と学力との関連についてわかったことなど、家庭で大切にしたいことをお知らせします。



京都府教育委員会

家庭で大切にしてほしい3つのポイント

基本的な生活習慣の確立

家庭での学習習慣の定着

家庭でのコミュニケーション

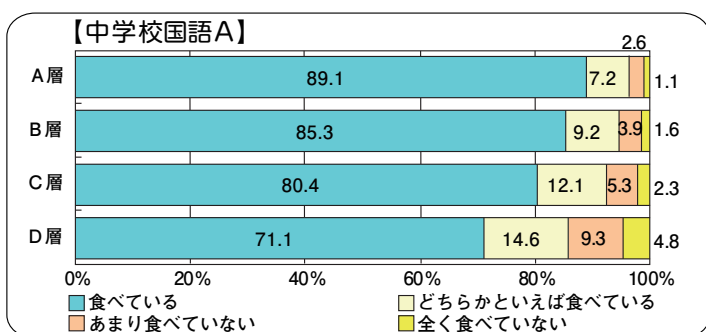


本年度の調査には、子どもたちの生活習慣・学習習慣にかかわる質問がおよそ80問ありました。この中から「学力と関係が深い」と考えられる項目を3つピックアップし、ぜひ家庭でお子さんと一緒に考え、取り組んでいただきたいことをまとめました。

① 基本的な生活習慣の確立

【質問】「朝食を毎日食べていますか」

学力との関係は・・・？



正答率が高い層ほど、朝食を毎日食べている子どもの割合が高いなあ。



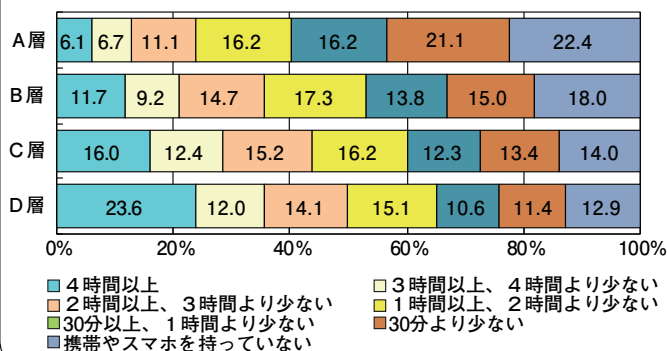
※ABC D層：正答率の高い順に、上位のA層からD層まで25%刻みに4分割しています。

【質問】「普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、携帯やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」

正答率が高い層ほど、携帯やスマホの使用時間が少ないと言えるなあ。



【中学校数学B】

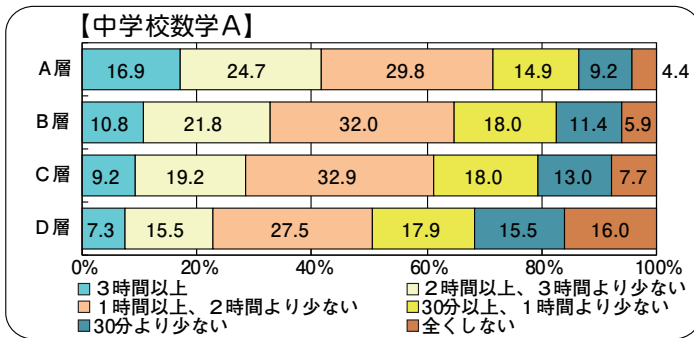


家庭では

- ☆ 「早寝、早起き、朝ごはん」など、規則正しい生活習慣を心がけ、身に付けましょう。
- ☆ 携帯電話やスマートフォンの使い方や使用時間、テレビを見る時間やゲームをする時間について家庭で話し合い、ルールをつくりましょう。

② 家庭での学習習慣の定着

■【質問】「学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」



学力との関係は・・・？

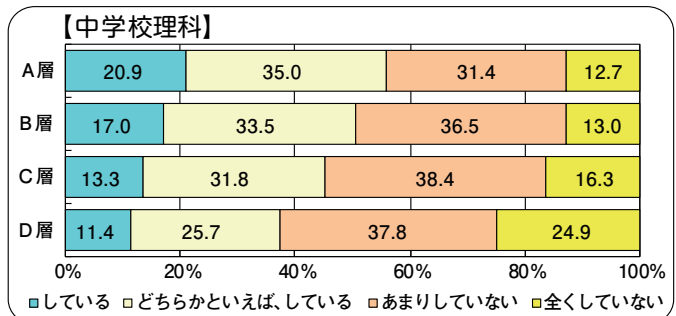
正答率の高い層ほど、学校の授業以外に勉強している時間が長い子どもの割合が高いなあ。



■【質問】「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」



正答率の高い層ほど、自分で計画を立てて勉強をしている子どもの割合が高いなあ。

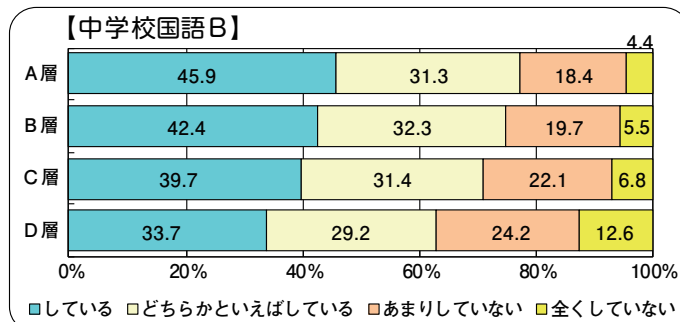


家庭では

- ☆ 毎日1時間以上は学校の宿題や授業の予習・復習に取り組みましょう。
- ☆ 授業の予習・復習に加えて、自分で計画を立てて、決めた時間・場所で勉強するなど、家庭学習の習慣を身に付けましょう。
- ☆ 家族みんなで子どもが勉強しやすい雰囲気を作りましょう。

③ 家庭でのコミュニケーション

■【質問】「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」



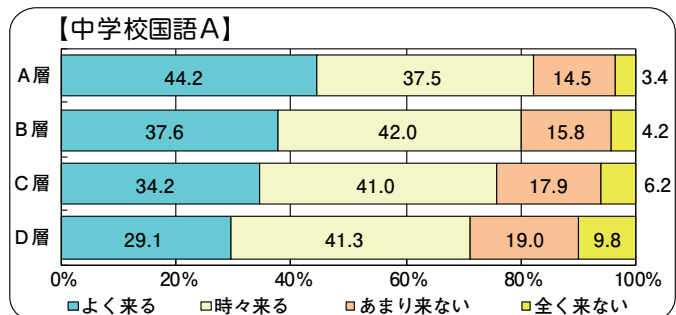
学力との関係は・・・？

正答率の高い層ほど、家の人と学校での出来事について話をしている子どもの割合が高いなあ。



今度、授業参観や運動会に行ってみよう。

■【質問】「家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか」



家庭では

- ☆ 子どもの様子を見届け、学校での出来事について話す機会を増やしましょう。
- ☆ 子どもの学校での学習や行事に取り組む様子をつかみ、声を掛けてあげましょう。

親子でチェック！



できていますか？ 家庭で大切にしてほしい3つのポイント

基本的な生活習慣の確立

- 「早寝、早起き、朝ごはん」を実行している。
- 携帯電話やスマートフォンの使い方や使用時間についてのルールがある。
- テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を決めている。

家庭での学習習慣の定着

- 毎日1時間以上は学校の宿題等の家庭学習に取り組んでいる。
- 毎日の宿題以外に計画的に家庭学習に取り組んでいる。
- 学習に集中できる環境づくりに努めている。

家庭でのコミュニケーション

- 親子で学校での出来事について話をしている。
- 家の人や、授業参観や運動会などの行事に参加している。
- 親子で地域や社会で起こっている問題や出来事について話をしている。

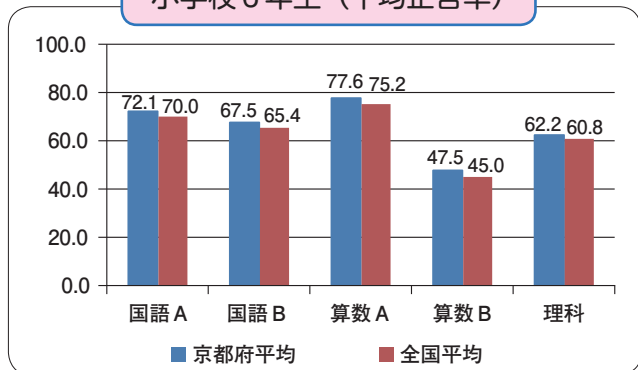
平成27年度全国学力・学習状況調査の結果



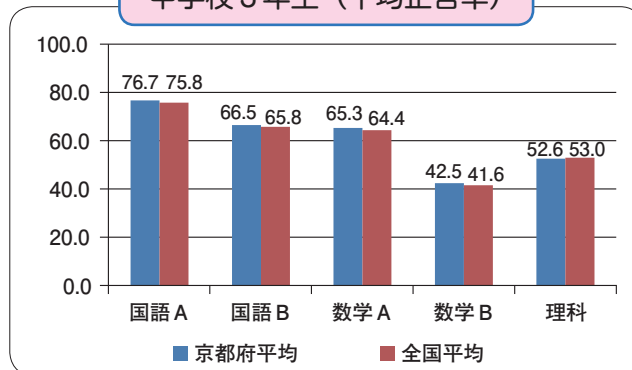
(A問題：主に知識に関する問題、B問題：主に活用に関する問題)

【実施日】平成27年4月21日 【本府の調査対象人数】 小学6年生：20,680人、中学3年生：19,790人

小学校6年生（平均正答率）



中学校3年生（平均正答率）



◆ 全国学力・学習状況調査で測定できる学力は特定の一部ですが、結果を平均正答率などで見ると京都の子どもたちの学力は小学校では全教科で、中学校でもほとんどの教科で全国の平均正答率を超えています。

※ 京都府教育委員会学校教育課のホームページに結果の詳細を掲載していますので、ぜひ、御覧ください。

京都府教育委員会 学校教育課

検索

問い合わせ先 京都府教育庁指導部学校教育課

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

TEL：075-414-5833

平成27年12月発行